

第1回（仮称）佐倉西部自然公園整備基本構想に関するアンケート結果

問1. あなたの性別を教えてください。

男性	女性	その他	合計
14	6	0	20

問2. あなたの年齢を教えてください。

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
0	0	2	2	2	5	9	0	20

問3. あなたのお住まいの地域を教えてください。

佐倉地区	根郷地区	臼井地区	千代田地区	志津地区	ユーカーが丘地区	和田地区	弥富地区	合計
2	1	3	0	11	3	0	0	20

問4. あなたは（仮称）佐倉西部自然公園をどれくらいの頻度で利用しますか。

ほぼ毎日	週に数回	月に数回	年に数回	初めて訪れた	合計
0	4	7	6	3	20

問5. あなたが（仮称）佐倉西部自然公園を訪れる目的を教えてください。（※複数回答可能）

自然や景観	散策	休憩	運動	地域交流・イベント	子どもと遊ぶ	その他	合計
10	8	0	0	5	3	15	41

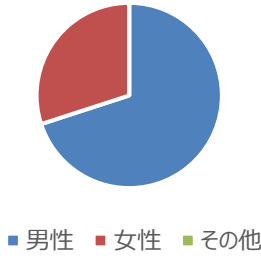
（その他の回答内容）

- ・畔田谷津WS ・同好会の活動 ・田んぼや畑の作業 ・竹林整備（2名）・マウンテンバイク（2名）
- ・公益団体の活動（緑の基金／各種調査、動植物保護監視員の巡回、WS活動）
- ・市民団体の活動（支援し隊） ・市民団体の活動（下志津ふるさと会／草刈り）

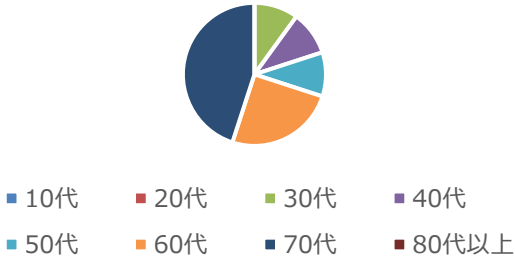
問6. 将来像・基本方針に関して、ご意見がございましたら、ご記入ください。

- ・この基本方針により、計画を進めてください。
- ・過去に提唱された「私たちがつくる21世紀の里山自然公園」を継承している点が良い。
- ・基本構想を見直すにあたり、利活用の目的や考えの基盤を抜本的に転換して取り組むことも必要。
- ・用地買収により、ようやく計画が動き出すことに期待しています。
- ・基本構想が決まったら、早急に具体化してください。
- ・最低限の整備（駐車場・トイレ、散策路）は必要だが、できる限り自然を残してほしい。

問1. 性別



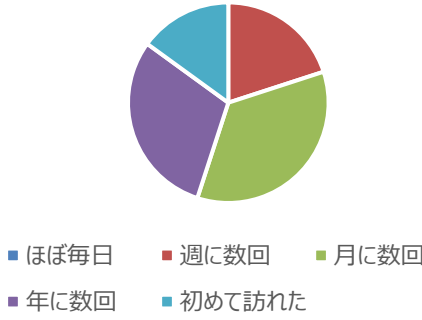
問2. 年齢



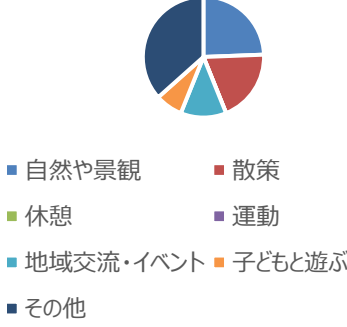
問3. 住まいの地域



問4. 利用頻度



問5. 訪れる目的



問7. ゾーンニングに関して、ご意見がございましたら、ご記入ください。

- ・既存の計画は4つのゾーン分けだったが、2つ（保全・活用）のゾーン分けになってわかりやすくなった。
- ・ゾーンニングは原案のとおりで良いが、親しみやすい、市民にわかりやすいネーミングを希望します。
- ・市が自然環境の保全に力を入れていることが感じられ、感謝しています。
- ・五反目谷津や上峠台地を生活環境課に移管して、保全ゾーンの「重点保全区域」を設定の上、取組みを進めてほしい。
- ・いつまで（仮称）を付けているのか。保全ゾーンを「佐倉西部里山保全ゾーン」とすることが、市民への誠意ではないか。
- ・下志津エリアと畔田エリアをスムーズに移動できると良い。（道路での移動は危険）

問 8. 施策（案）に関して、ご意見がございましたら、ご記入ください。

○保全

- ・希少な植物（クマガソウ、サクラオグルマなど）の保護用地として活用してほしい。
- ・希少な動物を保護するための対策（サシバの繁殖期の入場制限）をしつつ、自然と人の調和が必要。
- ・里山の自然環境は、草刈りなど常に人の手を入れる必要がある。保全計画を策定の上、対応してほしい。
- ・坊谷津等の荒れ地は田んぼ等の自然に戻す必要がある。
- ・昭和30年代の農業（古代からの）によって育てられた自然や生き物が残っているので、大切にしてほしい。
- ・環境保全のための森林整備に「森林環境譲与税」を活用してはどうか。
- ・畔田谷津WS参加者は高齢化が進んでいる。活動の縮小も視野に入れ、現実的な対応必要。
- ・不法投棄対策を講じて、より良い里山にしなければならない。
- ・当地こそ、「OECM」の登録に名乗り出るのにふさわしい自然が残っている。

○協働

- ・市民を参加させる工夫が必要だと思う。広大な公園のため、市民協働なくして維持管理は難しい。
- ・里山大学による作業員育成とOBによる作業をセットで実施してほしい。（人材育成・後継者育成）
- ・市民カレッジと協働でワークショップを開催すると良いのでは。
- ・竹林の整備と併せて、伐採した竹炭を有機堆肥にして、市内農家へ配布ができればよいと感じた。
- ・炭焼き窯の利用周知をしてほしい。
- ・休日や定年後に農業を楽しむ農業公園を作り、農家の方にはそのサポーターになってもらうのはどうか。
- ・坊谷津での田んぼを復活させたい。
- ・近隣の幼稚園、保育園、小学校の利用促進、佐倉西高校や東邦大学のレクリエーションも考えられる。
- ・関係者に理念を守らせる協議会の立ち上げが必要。（既存の合同会議との統合or差別化は要検討）

○活用

- ・アウトドア施設を整備する場合、既存の里山林や山野草を残した設計にしてほしい。
- ・アウトドアブーム、都心からのアクセスが良いを考えると、自然環境の保全は難しいと感じた。
- ・マウンテンバイク施設を整備する場合、市民が歩く散策路と別コースを設けてほしい。
- ・マウンテンバイクは規制した方がよいと感じた。里山を楽しむための公園にすべき。
- ・気候変動への対応、防災・減災の対策として、グリーンインフラとしての位置付けは重要だと思う。
- ・ゼロカーボンの推進、実証実験場としてふさわしい。（伐採した竹の炭素化⇒CO2の固定化）
- ・近隣学校の体験授業の場としての活用をしても良いのでは。
- ・都市公園法等の変革の趣旨に則り、新たな価値を創造し、市民に還元できる街づくりを重視してほしい。
- ・認知度を高めるため広報活動が必要。フィルムコミッション事業で活用したらどうか。

○整備

- ・駐車場とトイレの整備は多くの市民が待ち望んでいる。早急に整備をお願いしたい。
- ・トイレの位置は良く検討してほしい。（駐車場＝台地下部、重点整備区域＝台地上部）
- ・上下水道工事のような大規模開発は控え、自然を残した形（バイオトイレ等）での整備をお願いしたい。
- ・バイオトイレは処理に時間がかかるため、利用者数に制限があるというデメリットあり。
- ・車イスの方も利用できるエリアがあると良い。
- ・散策マップは市民団体が主体となって作っている。市には散策路の整備をお願いしたい
- ・自分がどこにいるのかわからなくなるので、各ゾーンの特徴を大きく記載した看板があったら良い。
- ・みんなの原っぱには、水場（井戸）がほしい。（井戸堀ワークショップを開催して市民協働での整備も良いのでは。）
- ・みんなの原っぱには、東屋があると日陰や雨を避けられるので助かる。
- ・五反目谷津のザリガニ池が橋や石で渡れるようにしたらステキ
- ・整備と活用により、交通量が増えることが懸念される。石上橋から下志津橋まで車で対向できる道を整備してほしい。
- ・東邦大学病院と佐倉西高校の間に道路とヘリポートを整備いただければ地域医療に貢献できる可能性がある。
- ・上峠台地の整備と活用（自然だけではなく歴史・文化的なアプローチ、見晴らし台整備など）をしてみてもどうか。
- ・森林の一部を果樹園にしたい。（日本には自給自足農業も大切）

問 9. （仮称）佐倉西部自然公園に関して、ご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。

- ・里山自然が残っている貴重な場所です。市民にもっと親しまれる場所となり、市民の財産として認められることを望みます。
- ・農業と一緒に生きてきた多くの生き物が生き続けられるように、次世代に引き継いでいきたい。
- ・「公園管理者も資産運用を考える時代」となり、都市公園の機能が十分に発揮されるよう合理的に設置されるべき。
今見直しを図る状況を考慮し、今後、目に見える進捗を期待している。
- ・既存計画策定当時は「整備費がない」という説明だったが、「整備する意思がない」ため計画が進まなかったと考える。
今回ははっきりと計画を進めることとなったでの、これからの取組みに期待しています。
- ・公園内の土地はすべて市有地となるよう、予算化をしてほしい。
- ・保全ゾーン内の草刈り、倒木や危険木の撤去をお願いしたい。
- ・「草刈りとの闘い」だと思います。森や近所の公園も虫嫌いな親たちは来ない。子どもがもっと遊べる場所にしてほしい。
- ・地元の人の雇用対策を確立してほしい。
- ・野外作業員の増加対策が必要（例：各種資格取得制度）
- ・不法投棄対策が必要（投棄者を追求するのではなく、税金での処理や自治体が申請できる処理助成制度を差額など）
- ・ヤード対策をお願いしたい。（静脈産業として中間処理施設は必要だが、事業所を閉鎖しているものもある。）
- ・ひまわり畑のように、市民にもっと西部自然公園を知ってもらうことが必要。
- ・今日のWSは知らないことを知る良い機会だった。木々や草花などの名称や説明があると尚良いと思った。